

○根 …ひげ根

II. 自由に選んだ100個の苞鞘について

1. 苞鞘の中の蕾(花)の数

蕾数	数
11-15	8
16-20	15
21-25	37
26-30	19
31-35	6
36-40	2
41-45	5
46-50	3
51-55	2
56-60	1
60-65	1
66-70	0
71-75	1

2. 苞鞘の大きさ

幅(mm)	数	長さ(mm)	数
5-10	1	36-40	2
10-15	5	40-45	3
15-20	12	45-50	8
20-25	21	50-55	11
25-30	18	55-60	25
30-35	17	60-65	24
35-40	21	65-70	24
40-45	4	70-75	3
45-50	1		

3. ひだの条数と苞鞘数

ひだ数	3	4	5	6	7
数	7	28	32	20	5

4. ひだの大小の比と苞鞘の数

大きなひだ数	3	3	3	3	3	4	4	4	5	5
小さなひだ数	0	1	2	3	4	0	1	2	0	1
苞鞘の数	7	28	21	16	5	1	7	4	3	2

5. 滑らかなひだ40苞, とげとげしいひだ33苞

6. 花床の花梗の極?……2, 3が最も多く, 4があり, 5極も稀にある。

走査電顕でみたウキクサ科植物の花と種子(要旨)

別府敏夫  
(京大・農・応植)

ウキクサ科植物はアオウキクサ (*L. paucicostata*) を除き, 自然環境下では稀にしか花や種子をつけないため, 従来の分類では, おもに栄養器官を分類形質として用いてきた。しかし, このグループの植物は極端に単純化した体制をもち, また, 栄養器官は環境条件により著しく変化を受けることなどのため, 分類の困難な種類があった。

最近, サルチル酸や安息香酸で処理すると, ウキクサ科植物の大部分に開花させることができるようになった。そこで, おもに日本に分布するウキクサ科植物を中心に, 花と種子を走査電顕で撮影し, 分類形質として検討した。

*Spirodela* 属: 日本には *S. polymorpha* と *S. punctata* が分布し, この2種は栄養器官だけでも分類できるが, 花や種子でも十分同定できる。*Lemna* 属: 特にこの属は栄養器官だけからは, 同定困難な種類を含む。

*L. paucicostata* と *L. perpusilla* は栄養器官だけでは, まず同定不可能といってよい程分類が困難であるが, 種子表面の縦すじを比較すると, 前者は15-22, 後者は40-52であり, 容易に区別できる。同様に *L. minor* と *L. gibba* も種子により分類できる。また, *L. paucicostata* は日本国内に3つの生態型を区別できるが, 栄養器官からは, これらの同定は困難であるが, 花をみれば分類できる。*Wolffia* 属は日本には1種類のみが分布し, 花は1本の雄ずいと1本の雌ずいだけから構成されるが, 種子は残念ながら得られていない。